



2024年5月2日
第24007号

JTA 2024年3月期(第57期)業績について

日本トランスオーシャン航空(本社:那覇市、社長:野口望)は、このほど2024年3月期(第57期)業績(2023年4月1日～2024年3月31日)を取りまとめました。

当期は、5月にコロナ感染症が5類へと移行後、約4年に及ぶコロナ影響から日本経済が脱却し、当社としても国内・国際チャーター便運航や需要喚起策を実施するなど、攻めに転じることができました。夏場の高需要期には長期にわたり影響を及ぼした台風の襲来があり厳しい状況もありましたが、通期の旅客需要は概ね好調に推移しました。

一方で、世界情勢不安等による燃油市況の高止まりや為替市場での継続する円安、また物価の上昇なども影響し費用は増加しました。

このような経営環境において、当期全体では、収支改善を図るべく引き続き費用の抑制に努め、売上収益が前年同期比129.0%の465億円、営業利益は22億円、経常利益は21億円、純利益は15億円となりました。

1. 2023年度

(金額の単位:億円)

	2022年度	2023年度	2022年度 同期比(%)	2019年度	2019年度 同期比(%)
売上収益	361	465	129.0	429	108.6
営業費用	359	443	123.2	342	129.2
営業利益	1	22	1,534.6	86	26.4
経常利益	1	21	1,761.1	84	25.7
純利益	0.8	15	1,745.1	62	25.2

(1)売上収益 465億円(前年同期比 129.0%)

①旅客収入:398億円(前年同期比 132.2%)

新型コロナウイルス感染症の5類移行を契機に航空需要が回復する中において、当期より14号機を導入し、関西=宮古線の通年運航、国内・国際チャーター便運航や日本航空の羽田=小松線ならびに羽田=岡山線の一部便を運航するなどJALグループの路線ネットワーク維持に努めました。また、閑散期においては需要喚起策として各種プロモーション・キャンペーンを実施しました。

この結果、提供席数は465万9千席(前年同期比 114.8%)、旅客数は310万5千人(同130.3%)、旅客収入は398億円(同 132.2%)と前年を上回りました。

②貨物・郵便収入:18億円(前年同期比 102.5%)

先島発の野菜・果実の減少により県内線は前年を下回りましたが、県外線は比較的堅調に推移しました。結果、貨物郵便の物量は23,442トン(前年同期比99.6%)収入は18億円(同 102.5%)となりました。

③付帯事業収入:16億円(前年同期比 110.4%)

航空需要の回復に伴う外航機の整備受託収入の増加等により、付帯事業収入は16億円(前年同期比 110.4%)となりました。



(2) 営業費用: 443億円(前年同期比 123.2%)

燃油費につきましては、「燃料油価格激変緩和補助金」の適用を受けましたが、運航諸元増に伴う燃油使用量の増加等により、前期差38億円増となりました。また整備費は為替の円安進行の影響が大きく、前期差7億円増となりました。前期に続き、細部にわたる費用の抑制に努めたものの、運航諸元に連動した費用が18億円増、その他固定費等が20億円増となり、結果として営業費用は前期差83億円増加となりました。

(3) 輸送実績

	2022年度	2023年度	2022年度 同期比(%)	2019年度 ※2	2019年度 同期比(%)
有償旅客数(千人)	2,384	3,105	130.3	3,081	100.8
有償旅客キロ(千人キロ)	2,047,879	2,494,284	121.8	2,630,231	94.8
有効座席キロ(千席キロ)	3,320,668	3,580,361	107.8	3,489,929	102.6
有償座席利用率(%) ※1	61.7	69.7	+8.0	75.4	▲5.7
貨物・郵便合計重量(トン)	23,527	23,442	99.6	29,416	79.7

※1 有償座席利用率の2022年度比および2019年度比はポイント差となります。

※2 2019年度の数值はJALグループで2020年度より適用している国際財務報告基準(IFRS)に準拠して表示しております。

2. 2024年度の見通し

今年度は5年ぶりにコロナ影響のないスタートとなりました。当社としては、継続する不透明な燃油市況、為替影響など、費用の面での厳しい経営環境が想定されますが、回復する航空需要の取り込みはもとより、新しい需要の創出やJALグループのアセットを活用した人流・物流・商流の促進を深化させる取り組みを行ってまいります。

そのような中、2024年度の通期業績目標としては、売上収益519億円(前期比111.5%) 営業利益41億円、経常利益41億円、当期純利益28億円 を目指してまいります。

当社は、これからも安全運航を大前提に、お客さまに安心してご利用いただけるよう創業からのビジョンである沖縄への貢献のために、公共交通機関としての社会的使命を果たし、地元の企業として沖縄の更なる発展に向けて取り組んでまいります。

2025年3月期の業績目標(2024年4月1日~2025年3月31日)

(単位:億円)

	2023年度	2024年度	2023年度 同期比(%)
売上収益	465	519	111.5%
営業費用	443	478	107.9%
営業利益	22	41	182.4%
経常利益	21	41	190.8%
純利益	15	28	184.2%

以上

